

しゃしんえほん へいわ かんが
～写真絵本で平和を考える～

ちよしゃ つた
著者が伝える

ひばくけん ながさき しょうがくせい おも
被爆県 長崎の小学生の思い

ことし せんそう お
今年は戦争が終わって80年です。

おとず
写真絵本の制作のため訪れた長崎で、
戦争について肌身で感じたことを著者
からみなさんに伝えます。

こうこうせい じゅう ひょうげん ろうどく
高校生による自由な表現での朗読も
聞いてください。平和について考えた
と思います。



↑ 著者 岡本さんによる、長崎取材した写真絵本

ながさきしりつぜんざしょうがっこう
↑長崎市立銭座小学校では、
にゅうがくいこう げんぱく
入学以降、原爆や平和について
まな
学びます。6年生になると、自分
たちの思いや考えを絵で表現する
きょうどうせいさく とく
共同制作に取り組みます。

ひにち：れいわ ねん がっ か ごぜん じ
日にち：令和7年8月2日（土）午前10時～11時

ばしょ ちくさとしょかん しゅうかいしつ
場所：千種図書館 集会室

たいしょう しょうがくせい いじょう ほごしゃ かた にゅうしつ
対象：小学生以上20人（保護者の方も入室できます）

こうし おかもとさなか しゃしんか にんげん ふうど かくし はっぴょう
講師：岡本央さん（写真家 人間と風土をテーマに、各誌にルポルタージュを発表）

朗読 菊里高等学校生

もうしこみ せんだ 7月19日（土）9時30分～（電話またはウェブサイトにて）
でんわ



名古屋市千種図書館 電話：052-781-7431 FAX：052-781-7447

古紙パルプを含む再生紙を使用しています